

佐賀県嬉野市「地域おこし協力隊」募集要項

嬉野市は、佐賀県の西部に位置し、東は長崎県と接しており、総面積126平方キロメートルの広大な地域の三分の一超が森林で占められ、多良岳山系を源流とする塩田川流域に88の地区が散在する、人口26,000人余りの小さな市です。

市の主産業は「お茶と温泉、陶器と農業」で、長崎市・佐世保市・福岡市・久留米市などからほぼ一時間圏内という立地を活かし、年間200万人超の観光客で賑わっています。2022年秋には九州新幹線の新駅も開業予定です。

嬉野市では、ここ10年で人口が10%以上減少しており、空き家の増加や経済規模の縮小といった問題を抱えています。日本全体の人口が減少している局面で、他の都市との人口獲得競争は限界を向えつつあり、人口減少の中で豊かに暮らし続けるにはどうすればよいかを真剣に考える段階に来ています。市の中心部は温泉観光地ということもあり、観光消費によりなんとか経済規模を維持していますが、周辺の村方ではバス路線の減少や商店の閉鎖など徐々に生活に影響が出てきています。

このため、都市部の意欲ある人材を積極的に受け入れ、空き家の増加、担い手不足といった地域の課題解決を促進し、人口減少下における持続可能で豊かな生活スタイルを創造的・能動的に選択していくため、次のとおり「地域おこし協力隊」を募集します。

○ 募集人員 地域おこし協力隊 1名（令和3年2月頃着任予定）

※着任時期については応相談

○ 活動内容

- (1) 空き家・移住に関するネットラジオの企画運営
- (2) 空き家バンク運営補助
- (3) 移住フェア、移住個別相談等を通じた移住促進
- (4) お試し移住施設運営補助
- (5) その他、移住・空き家等に関すること、地域イベント等への参加

○ 募集対象(募集条件)

① 年齢 問いません

② 性別 問いません

③ 住所 3大都市圏をはじめとする指定都市等に住んでいて、着任後、嬉野市内に移住し住民票も移せる方。

※3大都市圏をはじめとする都市地域…条件不利地域(過疎法、山村振興法、離島振興法の指定地域)以外の地域

※3大都市圏をはじめとする指定都市等は、国の地域おこし協力隊推進要綱に係る「特別交付税措置に係る地域要件確認表」でご確認下さい。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000610490.pdf



④ 資格等 自動車運転免許を取得している、または近日中に取得予定の方。
基本的なパソコン操作のできる方。

⑤ 健康 心身ともに健康で、地域の特性や風習などを尊重し、意欲を持って活動に取り組める方

⑥ その他 協力隊内定後に確実に着任いただける方

- 活動場所、勤務先 嬉野市内全域
嬉野市役所塩田庁舎 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地
- 活動時間 週休2日制/週35時間勤務(7時間勤務/日)
- 活動形態・期間 会計年度任用職員(パートタイム)
隊員としての活動期間は最長3年(年度ごとの更新)
- 待遇・福利厚生 月額223,500円(昇給有、勤務期間に応じて賞与あり)
社会保険、雇用保険に加入します。
住居補助月額38,000円(上限)
活動に必要な車輛、パソコン等は市が用意します。(私使用の制限有)
その他、活動に必要な費用は、協議の上、予算の範囲内で市が負担します。
引越しにかかる費用は自己負担とします。
条件によっては、嬉野市が行う移住応援金を受給できる場合があります。
・子どものいる家庭⇒引越し費用(最大10万円)+2万円×子どもの人数
・嬉野市内に祖父母がいる単身の孫⇒10万円
・単身女性⇒10万円
- 選考 一次選考 応募用紙の記入内容をもとに選考を行います。
二次選考 一次選考合格者を対象に、嬉野市内での面談、ワークショップを行います。
令和2年12月21日(月)～22日(火)を予定しています。
※二次選考にかかる旅費については予算の範囲内で一部支給します。
- 応募期間 ～令和2年11月30日(月)※必着
- 提出書類 応募フォームまたは応募用紙(ファイル)に記入し、送信もしくは郵送して下さい。
※メール送信の場合には、応募用紙のファイル形式は問いません(例:Excelファイル、PDF)

お問い合わせ、応募先

嬉野市役所 企画政策課

〒849-1492

佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地

TEL : 0954-66-9117

E-mail : kikaku@city.ureshino.lg.jp



応募フォーム
(Googleアカウントが必要です)

応募用紙ダウンロード
(市役所ホームページ)